



こーひーぶれいく

アプリ

松田 尚樹

Matsuda Naoki

この「こーひーぶれいく」欄に原稿を、と編集担当の方からいただいたメールには、以前、筆者の趣味はバイクでのツーリング、プール、大村のポートレース、と自己紹介していたとのことだった。確かにかつてはそのとおりだった。が、無残にもそれらは2017年の正月明けにほぼ同時に消え去った。ポートレースの帰りにバイクでプールに向かう途中、普段ならなんということはない斜面にボンと足をついた瞬間に膝の粉砕骨折で、以後3か月の松葉杖生活となった。還暦は厄年なのである。というわけで、これらのネタはあまりにも悲しい。

かわりにインドア系のネタ、アプリである。世の中便利になったが、ネット環境の生活制御感は恐ろしい。アプリ発、ネット経由で、知らぬ間に自分の生活がどこかで解析されている。それは分かっているし、別に使わなくても済むのだが、一応は便利だったり、暇つぶしになったり、ちょっとは時代の先端にしがみついている気になったりするの、いい気になっていくつか紹介して、こういう原稿を埋められる程度には使っている。

まず「読書メーター」。読みたい本、積読本、読んだ本を整理するのが基本機能だが、検索機能や、統計機能や、読後コメントで他のユーザとの交流や、ネット注文リンクが付いている。買った本なら本棚に並べておけば済むが、年寄りには借りた本や電子書籍だと読んだことを忘れてしまってまた買っちゃった、なんてことにもなりかねないので、安全性にも優れている。日曜の書評欄で気になった本は大抵切り抜くのだが、持って歩くわけにもいかず、そんな時にこのアプリに登録しておけば、書店の書棚の前で記憶と戦う必要もなくなる。登録以来1,177日、

読んだ本119冊、読んだページ42,372、と数値化されると、なんとなくゴールの無い達成感もある。

鉄道オタク系アプリも多いが、「駅メモ!」では全国の駅にアクセスした記録を残す。こういうのは、普通は鉄道系月刊誌の付録の全国路線マップを塗りつぶして楽しむわけだが、アプリはさすがに路線別や県別のコンプリート状況等統計解析結果の出力に優れている。おまけにアクセス数や移動距離数はポイント化され、好むと好まざるとにかかわらず、全国のユーザとのコンペティションに供される。そして車両を司るのは可愛い女子キャラで、よく分からないが知らぬ間に他のユーザのキャラ達と勝負していて、筆者が頑張れば彼女たちも成長してより強くなっているらしい。結構頑張っているつもりだが、現在の総合スコアは21,116位どまりである。いやみんな、よくやるね。

還暦を過ぎると、つい自分の過去を振り返ってみたりする。でも系統的に振り返るのは大変なので、ここでもアプリを使う。年表作成アプリ「chronii」では、時系列で出来事をまとめておくことができる。PCで無機質なエクセルの表にしておけば済むことだが、これだとデザイン性もあってなんとなく楽しい。どこに旅したとか、旧友といつ会ったとか、家族がどうしたとか、使いようによっては気楽な記憶サポートツールとなる。その先にあるのは、まさしく終活アプリである。これまたいろいろある。ただこれは自分だけで決めるわけにはいかず、事後処理を委託することになる家族にとっての分かりやすさ、使いやすさも大事である。たいへん重要な 이슈なので、現在、慎重に見定め中である。

他にもネコ系とかキャラ育成系とか放射線系（本来はこれを紹介すべきか）とか、まだまだ使って楽しいアプリはいろいろあるが、それだけこちらの情報も流出しているのかと思うと空恐ろしい。やはりアウトドア、バイクで1人ツーリングするのが一番いい。実はツーリング系アプリもいろいろあるのだ。

(長崎大学 原爆後障害医療研究所)